

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199	飛騨にゆかわイベント開催事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		13,000	11,800	11,800	要求どおり	11,800	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	13,000	11,800	11,800		11,800	

以下は要求時の内容

事業の目的			
観光イベントの開催			
事業概要			
乗鞍岳山開き祭、飛騨にゆかわコスモスまつり、飛騨にゆかわ宿儺まつり、NORIKURAウィンターカーニバル (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
交流人口の増大による、地域産業の活性化。			
要求額増減理由			
地域や特定団体等の自主的運営への将来的な移行を前提とし、負担金の減額。			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
各構成イベント毎の将来方針に向けて、自主運営化または一般予算化を進める。			
市長の約束			
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

事業実施の課題	① 支所
	各イベントの将来方針に向けて、自主運営または一般予算化を進める。
	② 本庁所管課 (観光課)
誘客促進と地域産業の振興を図りつつ、各イベントの整理・統合を進める。	
③ 地域政策課	
合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容等の精査を行うとともに、継続について地域と十分調整する必要がある。	

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	体育総務費
事業名	95199	地域スポーツ振興事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		450	450	450	要求どおり	450	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		450	450	450		450	

以下は要求時の内容

事業の目的			
朴の木平スキー場で開催される各種スキー大会は、県外からも多くの参加者が集う伝統ある大会である。冬季における丹生川地区の活性化に大いに貢献するとともに、スキー競技のレベルの向上に繋がっている。			
事業概要			
スキー大会開催負担金 東海社会人スキー大会 乗鞍大回転競技大会 マスターズ大会			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
大会の開催(大会数)	3	3	3
成果			
3大会の地元開催による地域の活性化とスキーレベルの向上			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
大会の開催は、参加者のスキー技術の向上のみでなく、地域の活性化につながっているため、今後も継続していく必要がある。			
市長の約束			
1 積極的な観光振興策を実施します 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

事業実施の課題	① 支所
	スキー人口の減少により、来場者が低迷する中、参加料等の自主財源を確保していくことが現状では難しい。
	② 本庁所管課 (スポーツ振興課)
地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算事業の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	
③ 地域政策課	
同上	

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
事業名	31199		地域社会福祉推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		210	210	210	要求どおり	210	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	210	210	210		210	

以下は要求時の内容

事業の目的			
次世代を担う若者の結婚の機会を拡充し、活力ある地域づくりを目的とする。			
事業概要			
結婚相談協力員5名を配置。(謝礼で対応) 結婚相談所開設日に情報交換。日々の活動(相談、電話、訪問、面談) 相談を受けた場合、相談者に対する今後の支援について、相談員と協力員で検討を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
結婚相談日解説 相談・訪問・電話対応延件数(件)	毎月第3水曜日開設 118	毎月第3水曜日開設 110	毎月第3水曜日開設 110
成果			
若者の出会いの機会の拡充			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
平成27年度に一般予算化または廃止			
市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (福祉課)
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費
事業名	31399		老人クラブ活動費助成事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		420	420	420	要求どおり	420	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	150	280	280		280	
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		270	140	140		140	

以下は要求時の内容

事業の目的			
老人クラブの高齢者の生きがいや健康づくり、地域におけるボランティアなどの自主的な活動を支援する。			
事業概要			
各区長寿会の運営を支援するため、事務局設置に係る経費を助成する。			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
会員数(人)		855	845
単位クラブ数(クラブ)		12	12
		H23計画	
		845	12
成果			
高齢者の健康づくりや生きがいづくり			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動のより一層の充実と活発な取組みのため、一般会計予算へ移行。			
市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制の整備します。			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (高年介護課)
	③ 地域政策課

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
事業名	72199 地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		10,000	10,000	10,000	要求どおり	10,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		10,000	10,000	10,000		10,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
未登記路線の整備 (旧町村時代に、未登記のまま道路整備した路線の登記整理)			
事業概要			
市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
未登記解消(路線数)	3	3	2
成果			
地権者による道路封鎖や売買時の権利問題等の解消			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
重要路線の未登記処理は平成26年度までに終える			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	業務の計画的な執行を図ること
	② 本庁所管課 (維持課)
	重要路線の未登記処理は平成26年度までの完了を目的に計画的に実施することとしているため、当業務の重要性を認識の上、予算要求年度において計画額よりも減額した場合は、次年度以降に調整し進捗量の維持を図ること。
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	7	快適環境整備費
事業名	74799		花街道整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,500	1,500	1,500	要求どおり	1,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		1,500	1,500	1,500		1,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
市道・林道等の沿線路側の雑草支障木等除去し景観保全を行う事により活力のある町づくりを行い四季折々の景観保全を図るもの。			
事業概要			
道路路側の雑草・支障木除去			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
除去延長(km)	30	30	35
成果			
町内の修景観保全			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
丹生川地域の交通の障害となる雑草・支障木を除去する事により、沿線周辺の景観を保全する事業であり今後も継続して実施する。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所	
	② 本庁所管課 (都市整備課)	地域振興特別予算終了後の取り扱いを検討する必要がある。
	③ 地域政策課	樹木花等の植栽、雑草の除去など地域振興特別予算で措置されている類似事業について、景観保全、安全の確保など全市的な検証を行い、早い時期に方向性を出す必要あり。

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
事業名	94199	花のふるさとづくり事業						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,100	6,300	6,300	要求どおり	6,300	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	6,100	6,300	6,300		6,300	

以下は要求時の内容

事業の目的			
国道・県道・市道沿いを中心として花ざかりを実施し、このことを通じて地域の連携意識の高揚、町内の環境美化の推進及び、高山市へ訪れる多くの観光客の目を楽しませ、地域全体のイメージアップを図る。			
事業概要			
花いっぱい運動 花壇植栽管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
花いっぱい運動参加団体 花壇面積(m ²)	6,302	6,798	6,800
花いっぱい運動参加団体(団体)	81	80	80
コスモス街道植栽管理委託 植栽延長(km)	12	12	12
成果			
町内の環境美化推進			
要求額増減理由			
地域住民からの花苗配布数量の見直しによる購入費用の増			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
高山市の西の玄関口として多くの観光客が往来する丹生川地域の環境美化のみでなく、高山市全体のイメージアップにつながって行く事業であり、今後の継続を検討			
市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。			

事業実施の課題	① 支所
	他地域との調整が必要、その場合は、一般予算での検討が必要。 丹生川地域としては、苗等の配布規模は現状維持して行きたいが、減少する場合は、住民の花に対する意欲の減退につながる可能性がある。
	② 本庁所管課 (市民活動推進課)
	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、花いっぱい運動に対する各種事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化振興費
事業名	94699	地域芸能文化振興事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		300	300	300	要求どおり	300	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	300	300	300		300	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域に根ざした芸能文化の振興を図る			
事業概要			
文化展、芸能祭の開催に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
文化祭の開催(日間)	3	3	3
芸能祭の開催(回)	1	1	1
成果			
地域住民が期待している伝統的な行事であり、地域の芸能文化の振興発展、継承が図られる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
丹生川地区社教が中心となって事業を継続実施している。地域住民がとても期待している伝統的な行事であり、地域の芸能文化の振興発展に寄与している。 行政からの支援は今後の継続について検討が必要である。			
市長の約束			
心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ広げていく。			

事業実施の課題	① 支所
	丹生川地区社教が中心となって実施しているが、芸術文化の伝承等のため自主財源だけでは継続が難しい。
	② 本庁所管課 (生涯学習課) 地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、文化芸術鑑賞事業を市内にある一定規模以上のホール等を含めた事業として拡大展開を検討しているため、文化芸術鑑賞事業と地域文化振興事業との関係を整理する必要がある。また、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化についても検討する必要がある。
	③ 地域政策課
	同上

地域振興特別予算 事業別予算概要

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化振興費
事業名	94699		地域芸能文化振興事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,500	2,500	2,500	要求どおり	2,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		2,500	2,500	2,500		2,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
優れた芸術文化にふれる機会の充実を図る			
事業概要			
地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
文化芸術鑑賞事業(回)	2	2	2
成果			
コンサートや公演にふれ、地域住民の資質の向上と芸能文化の振興が図られる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地域住民が身近な施設で演劇等の公演の機会を得るための重要な事業であり、平成19年度より地区社教が主体となって事業を実施することで、より地域住民のニーズに合った事業が実施できるため、今後の継続について検討。			
市長の約束			
心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ広げていく。			

事業実施の課題	① 支所
	丹生川地区社教が主催しているが、文化ホール規模でのイベントは、自主財源(入場料)だけで実施するのは難しい。
	② 本庁所管課 (生涯学習課) 地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、文化芸術鑑賞事業を市内にある一定規模以上のホール等を含めた事業として拡大展開を検討しているため、文化芸術鑑賞事業と地域文化振興事業との関係を整理する必要がある。また、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化についても検討する必要がある。
	③ 地域政策課
	同上

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業名	94799		文化財標柱等設置事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		898	898	900	要求どおり	900	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		898	898	900		900	

以下は要求時の内容

事業の目的			
文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。			
事業概要			
丹生川地域内に存在する文化財について、高山市の指定文化財標柱を整備し、文化財の周知及び文化財保護の啓発を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
石製標柱設置数(箇所)	2	3	4
説明看板設置数(箇所)		1	2
成果			
指定文化財の周知と文化財保護の意識高揚			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
平成13年度より計画された文化財標柱等の設置については、平成19年度までに、設置基準種目(文化財分類)について全て完了した。しかし、古い標柱は木製であり、腐食が進んでいるため、文化財の状況確認の中で随時更新していく必要がある。			
市長の約束			
国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切にする語り部の育成に取り組みます。			

事業実施の課題	① 支所
	平成13年度以前に設置した木製標柱が多く、腐食が進んでいるため状況確認と更新が必要。
	② 本庁所管課 (文化財課) 現状を調査し、計画的に更新を実施する必要がある。
③ 地域政策課	

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	体育総務費
事業名	95199	地域スポーツ振興事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		900	900	900	要求どおり	900	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		900	900	900		900	

以下は要求時の内容

事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが参加できるスポーツ大会を町内で開催することにより、限られた人達だけでなく、普段スポーツ活動をしていない人の参加を促進し、地域のスポーツの振興を図る。 スポーツ大会に向けた日々の練習により、健全なからだづくりにつながる。また、絆もより一層深めることが期待される。 			
事業概要			
<ul style="list-style-type: none"> 丹生川町内で地区対抗等の体育大会を開催する。 春季大会(屋外球技) 夏季大会(屋外競技) 秋季大会(系スポーツ) 冬季大会(関内協議・屋外競技) 			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
屋内・屋外競技の開催(競技)		13	13
			H23計画
			13
成果			
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の健全な体力づくりと地域の連帯感の醸成 			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
<ul style="list-style-type: none"> 丹生川地区社会教育運営委員会が主体となって事業を継続実施している。地域住民がとても期待しているスポーツ行事であり、地域のスポーツ振興に大きく寄与している。 行政からの支援は今後も継続していく必要がある。 			
市長の約束			
市民活動の幅と厚みを更に加えるため・市民活動支援補助金を増額します。			

事業実施の課題	① 支所
	丹生川地区社教が中心となって各種体育大会を開催しているが、市民の交流、体力向上、健康維持等が目的であり、自主財源の確保は難しい。賞品代については、毎年減額するよう調整している。
	② 本庁所管課 (スポーツ振興課)
地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算事業の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	
③ 地域政策課	
同上	

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	6	公園管理費
事業名	74699	丹生川ダム周辺環境整備事業(ダム周辺環境整備事業)						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,600	24,000	24,000	要求どおり	24,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		17,760	17,760		17,760	
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		3,600	6,240	6,240		6,240	

以下は要求時の内容

事業の目的			
丹生川ダム完成に向けたダム周辺の環境整備を行う。			
事業概要			
ダム周辺木地屋溪谷森林レクリエーション施設整備 五味原ふるさと公園整備			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
樹木の植栽(m ²)			32,000
公園整備			ベンチ・東屋設置
成果			
ダム建設時の残土処分地の多目的利用として環境整備する事により、市民の憩いの場所となり、又、集団移転を余議なくされた五味原集落を後世に伝える場として利用される。			
要求額増減理由			
ダム建設に関わる関連工事であり、工事内容が毎年違う事による。			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
平成23年度でダム本体工事は完了するが、関連工事が発生しているため、継続して周辺の整備を実施する	
市長の約束	

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (都市整備課)
	後の維持管理費ができるだけ安価となるような整備内容とすべきである。
③ 地域政策課	

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	4	自然公園費
事業名	62499 乗鞍岳・乗鞍山麓五色ヶ原の森活性化対策事業							

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,000	2,500	2,500	要求どおり	2,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	3,000	2,500	2,500		2,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
乗鞍岳活性化対策として誘客拡大に繋がる振興策の実証試験を実施し、効果的な誘客策を検討する。			
事業概要			
都市圏における観光誘客キャンペーンの参加開催 乗鞍岳誘客拡大実証試験などの実施			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
誘客キャンペーン開催(回)	4	4	4
誘客拡大実証試験(回)	12	11	12
成果			
貴重な自然資源を効率的にPRし、乗鞍岳等への誘客拡大を図る。			
要求額増減理由			
H22は、五色ヶ原の森宿泊パックツアーを実施したが、H23は旅館組合等の自主運営に移行することから、減額となる。			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
継続的に実施し、効果的な誘客策を見出す。	
市長の約束	
高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。	

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199	乗鞍サイクルヒルクライム開催事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,200	1,200	1,200	要求どおり	1,200	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	1,200	1,200	1,200		1,200	

以下は要求時の内容

事業の目的			
乗鞍岳の観光客誘致			
事業概要			
乗鞍サイクルヒルクライムの開催 (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
エントリー者数(人)	593	478	1,000
成果			
地域への観光経済効果が期待されるとともに、自転車レースによる乗鞍岳の誘客PR効果が期待される。			
要求額増減理由			
増減なし。			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針			
競技エントリー者数の増加を図り、自主的な運営に移行する。			
市長の約束			
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

事業実施の課題	① 支所
	競技参加者を1,000人規模に寄せ、近い将来地元観光関係者や新聞社らが中心となった自主運営に移行する必要がある。また、スポンサーの減少と地元ボランティアスタッフや事務局となる新聞社事務局スタッフが不足する現状があり、大会を安全かつ円滑に運営するうえで課題となっている。
	② 本庁所管課 (観光課)
	終期を定めて実施する事業であり、自主運営に移行できない場合は、事業の継続は困難である。
	③ 地域政策課

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199		観光フラワーガーデン整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,000	3,000	3,000	要求どおり	3,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		3,000	3,000	3,000		3,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
ほおのき平コスモス園の観光客誘致			
事業概要			
コスモス園の生育環境改善 (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
客土等(ha)	1.15	0.85	0.85
コスモス園入込客数(人)	50,890	54,860	56,000
成果			
客土等による生育環境改善により、夏秋の観光スポットを確保し、交流人口の増大による地域観光産業の活性化を図る。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
平成23年度完了予定。	
市長の約束	
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。	

事業実施の課題	① 支所
	当該事業により客土を実施するなど花の生育環境改善を進めている。現状のコスモス(8月上旬から10月上旬)のみならず、6月から7月に開花する新たな花の導入を検討し、投資効果を高める。 ただし、コスモスはスキー場ゲレンデの雪解け後、5月中旬に播種し以後管理を進める必要性があり、新たな花の導入については別のエリアでの検討が必要となる。
	② 本庁所管課 (観光課)
	新たな花の導入については、投資効果を慎重に分析する必要がある。
	③ 地域政策課
	当地は既にコスモス園として定着したイメージがあり、新たな花の導入については、花の選定・PR等十分に検討する必要がある。

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		丹生川地域再発見事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,000	1,000	1,000	要求どおり	1,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		1,000	1,000	1,000		1,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域力向上のため、地域の魅力の再発見及び、地域資源の発掘を行う。			
事業概要			
乗鞍岳早期開通に向けた事業の提案、事業推進、PR活動事業、環境をテーマとした乗鞍誘客促進事業の展開			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
新たな利用の提案			事業の推進・PR等
成果			
乗鞍岳の観光資源の再構築と、それに向けた誘客により地域振興を図る。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業		
事業の今後の方針			
地域活力向上のため、地域の魅力の再発見、地域資源の発掘を行うためH24まで継続する。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	3	道路新設改良費
事業名	72399		市道改良事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,000	13,000	13,000	要求どおり	13,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		5,920	5,920		5,920	
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		5,000	7,080	7,080		7,080	

以下は要求時の内容

事業の目的			
五色ヶ原の森への輸送路となっており、未舗装路の段差解消等交通の安全確保、景観保全の確保を図る			
事業概要			
舗装新設工事			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
道路改良延長(m)			
旗鉾乗鞍線		410	400
折敷地15号線			1,500
成果			
整備により、通行の安全性・利便性が向上する			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
五色ヶ原の森への乗客輸送、緊急搬送路となっており、悪路の解消を図るため、計画に沿って実施する。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所	
	② 本庁所管課 (建設課)	生活道路としての重要性は低いですが、地域振興として五色ヶ原の森への輸送路としての整備という位置づけである
	③ 地域政策課	生活道路としての重要性は低いですが、地域振興として五色ヶ原の森への輸送路としての整備という位置づけである

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	7	快適環境整備振興事業
事業名	74799	遊歩道整備事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,000	800	800	要求どおり	800	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		2,000	800	800		800	

以下は要求時の内容

事業の目的			
十二ヶ岳登山道の案内看板の設置			
事業概要			
案内看板 4基			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
案内看板 歩道整備	木製階段 50段	木製階段 100段	4基
成果			
十二ヶ岳への登山者が安心して登山できる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
単年度事業	
市長の約束	
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。	

事業実施の課題	① 支所
	市民や観光客が利用する遊歩道の荒廃は、利用者の減少につながるなど、観光資源の価値を低下させる。
	② 本庁所管課 (都市整備課)
	特になし。
	③ 地域政策課

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81399		消防ポンプ庫周辺環境整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,500	2,800	2,500	設計を外注する要求分の減	2,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		2,500	2,800	2,500		2,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
丹生川地域の主要幹線道路沿線で公衆トイレが無いところを対象に、消防ポンプ庫周辺の環境整備及び公衆トイレを整備することにより、環境美化の推進及び地域全体のイメージアップを図る。			
事業概要			
消防ポンプ庫の公衆トイレ及び周辺環境を整備(H21旗鉾、H22坊方、H23大萱)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
消防ポンプ庫周辺環境整備(箇所)	1	1	1
成果			
消防ポンプ庫周辺の環境美化が図られ、消防団員をはじめ地域住民の利便性が向上する。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	<input checked="" type="radio"/> C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業		
事業の今後の方針			
支所地域で5ヶ所を予定しており、平成21年度から実施している。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	下水道未整備地域の消防ポンプ庫改修をどうするか
	② 本庁所管課 (消防総務課) 事業の実施については、消防総務課と支所で協議のうえ実施する。 消防団車庫整備計画との調整が必要である。
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	体育総務費
事業名	95199	地域スポーツ振興事業						

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出			1,000	1,000	要求どおり	1,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算			1,000	1,000		1,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
2012ぎふ清流国体冬季競技大会が2012年2月14日(火)～2月17日(金)飛騨ほおのき平スキー場にて開催されるにあたり、丹生川地域で大会参加者を歓迎し、大会を盛り上げる。			
事業概要			
ぎふ清流国体冬季大会支援事業 ・地域の団体等で組織を作り、大会や参加選手歓迎の雪像作り等を行う費用の一部負担を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
冬季国体を地域住民に周知し、理解協力による歓迎ムードの醸成と、役員、選手、関係者等が気持ちよく大会に参加できる環境作り、丹生川地域のPRと交流促進ができる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
2012ぎふ清流国体冬季大会に向けた単年度事業	
市長の約束	

事業実施の課題	① 支所
	歓迎については、全市的な対応が必要であり、地域が特別に行う事の意義を住民に理解してもらい協力を得る事。
	② 本庁所管課 (スポーツ振興課)
当事業は国民体育大会の開催に当たり、競技会場地域として地域の特色の発信や地域の盛り上げを創り出す事業であり、地域の活性化を図るために必要な事業である。	
③ 地域政策課	
同上	

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199 冬季国体歓迎地場産品PR事業							

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出			500	0	必要に応じて地域振興助成事業での対応とする	0	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算			500	0		0	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地場産品のPR			
事業概要			
冬季国体競技会場付近の特設会場での地場産品の販売(振るまい) (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
全国各地から来高される冬季国体関係者等への地場産品PRにより、国体歓迎と地域の活性化が図れる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
単年度事業として計画。			
市長の約束			
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

事業実施の課題	① 支所
	当該事業を実施するため、年度当初に関係団体による実行委員会組織を設立し、歓迎とPR機運を高める。
	② 本庁所管課 (観光課)
関係団体の負担割合について類似事業との整合を図る必要がある。	
③ 地域政策課	
地場産品のPRにどどまらず、感想・意見等を収集し、今後の地場産品開発に活かす必要がある。	

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999	地域振興情報収集業務						

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出			495	0	地域再発見事業において実施		財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算			495	0			

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域住民アンケートにより、地域がかかえる課題と、住民が求める施策ニーズを把握し、効率的かつきめこまやかな地域づくりの基礎資料とする。			
事業概要			
地域全世帯に対して、アンケートを実施。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
地域住民対象(件)			1,400
成果			
<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな住民の意見の集約し、今後の地域審議会及び施策に反映。 効率的かつ効果的な行政の推進を図る。 			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
単年度事業 地域的課題への対応を中心として検討			
市長の約束			
合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性をのばします。 ・地域審議会の自主性を生かしたまちづくりを行います。			

事業実施の課題	① 支所
	地域審議会によるアンケート結果の理解と、地域政策への反映。 アンケート結果を地域審議会及び施策に反映させるための仕組みの確立。
	② 本庁所管課 (地域政策 課)
	地域住民意見については、第七次総合計画後期計画策定時に聴取しており、更にアンケートで地域的課題を把握することについて検討が必要。 アンケートのみではなく、さまざまな手法で地域住民の意見を聴取し、地域審議会及び地域のための施策に反映させることが必要。
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199		石仏探訪小路創設事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出			1,500	1,200	事業内容を精査 散策ルートの検討は地域の歴史民俗有識者等で組織する検討委員会で対応	1,200	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算			1,500	1,200		1,200	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域観光資源の活用			
事業概要			
地域内に多数存在する石仏を有機的に巡る「石仏探訪小路」を設定し、都市住民などを対象とした歴史探訪・癒しの場の提供を図る。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
石仏探訪小路の創設により、潜在する地域資源を有効に活用した観光誘客や地域活性化が期待される。			
要求額増減理由			
新規事業のため増額。			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
平成23年度完了予定。			
市長の約束			
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

事業実施の課題	① 支所
	不特定多数の観光客の、里山への入込みを積極的に進めることは、散策道の管理方法などのほか、周辺の田畑への踏み込みや山菜の盗掘、石仏の盗難なども懸念される状況であることから、地域の安全安心確保の観点からも、地元町内会や地域住民の合意形成が重要な課題となる。
	② 本庁所管課 (観光課)
	地域住民の合意形成が事業実施の前提である。
	③ 地域政策課
	地域振興にどのようにつなげるか検討が必要。

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	8	財産管理費
事業名	20899		旧大橋家管理事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		140	140	140	要求どおり	140	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	140	140	140		140	

以下は要求時の内容

事業の目的			
旧大橋家住宅の適切な施設維持管理を行う。			
事業概要			
旧大橋家住宅の施設維持管理として、建物清掃、庭木剪定、雪下ろしを実施			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
適正な維持管理による建物の保全			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
建物の保全に努め、寄付の意向を踏まえた有効活用の検討			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	地域振興を目的とした有効活用の検討
	② 本庁所管課 (管財課)
	借地である敷地の取扱いを含めた有効活用の検討を進めることが必要。
	③ 地域政策課

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92299 南知多町交流推進事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		600	600	600	要求どおり	600	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	600	600	600		600	

以下は要求時の内容

事業の目的			
環境の異なる子どもたちとの交流や、地元の人達の生活を体験することにより、児童の視野を広め豊かな人間性を育てる。			
事業概要			
平成3年度より南知多町の小学校と交流を実施			
①南知多町の小学校との交流 対象者 丹生川小学校の4年生 44名			
②地域生活体験 地引網体験			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
参加人数(人)		56	55
			H23計画
			44
成果			
環境の異なる子どもたちとの交流や、地元の人達の生活を体験することにより、児童の視野を広め豊かな人間性を育てる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
セカンドスクール(乗鞍青年の家研修)や修学旅行とは異なる漁業(海辺)の体験は、小学4年生の時期に続けられており、旧丹生川村と南知多町の姉妹町村提携により築き上げられてきたつながりを、子どもたちにも大切に続けていこう指導しているため、出来る限り継続する方向である。			
市長の約束			
8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 環境保全の重要性を理解し、みんなでより良い環境を作り上げ、次世代に残すことは私たちの使命であるため、将来を見据えた長期的な周知啓発活動運動の展開に加え、市内すべての学校で環境教育を推進します。			

事業実施の課題	① 支所
	補助金が減額されることにより、保護者の負担が増加する。 事業を廃止すると山間地では体験することのできない、海辺での体験交流活動ができなくなる。 事業が実施できなくなれば、姉妹都市提携までしていた南知多町との交流がほぼ途絶えることとなる。
	② 本庁所管課 (学校教育 課)
事業そのものは良い内容だが、高山地域では補助金を受けずに同様の事業を行っている学校もある現状で、それらとの均衡を図ることも重要であるため、保護者負担が可能な範囲まで事業の縮小をしつつ、その中で工夫しながら充実した事業を継続していく検討が必要。ただ、それぞれの学校で理由があって行き先が決まっている中で市補助を廃止すると、どの学校も同額の保護者負担とはいかないため保護者の理解も必要。	
③ 地域政策課	
保護者との調整が必要 この地域のみ交流事業を続けて行く必要性を検討。旧町村時の姉妹友好都市提携の調整では「地域の交流として継続していく」となっている	

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	3	スクールバス管理費
事業名	91499	中学校部活動生徒送迎事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		530	495	500	要求どおり	500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	530	495	500		500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
丹生川中学校の部活動用の生徒送迎バスを土曜日に運行することにより、遠距離の生徒も部活動に参加できるようにする。			
事業概要			
土曜日に行う部活動バスの運行 丹生川地域の東部地区、荒城地区の生徒送迎用バス（2台）の運行			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
部活バス運行(台)	2	2	2
成果			
部活動用の生徒送迎バスを土曜日に運行することにより、遠距離の生徒も部活動に参加できるようにする。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
丹生川中学校は通学にスクールバスを運行している現状の中、中学校の部活動のために土曜日にスクールバスを運行することは引き続き重要であるため、他のスクールバス利用生徒との均衡も含め、全市的な調整が必要である。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	丹生川地域は、東部方面と荒城方面の2路線があり、通学距離が長いこと、土曜日の部活動を実施するに当たり、スクールバスの運行がなくなると送迎による保護者の負担が増加する。
	② 本庁所管課（教育総務課）
部活動の送迎については、市内3地域で実施しており、以前の経緯から生徒の交通手段を確保するために運行の必要がある。 部活動への参加にかかる負担を減らすために実施しているもの。 今後、市内の部活動に伴う交通手段の確保について均衡を図るため、検討する。	
③ 地域政策課	
スクールバス利用についての考え方を調整する必要あり。	

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999	地域振興事業補助金						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,000	4,000	4,000	要求どおり	4,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		4,000	4,000	4,000		4,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する。			
事業概要			
地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業への補助			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助金交付件数(件)	11	13	13
成果			
市民の創意と工夫によって魅力ある地域づくりが推進できる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
引き続き継続する。			
市長の約束			
「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策 課)
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

金額の単位は、千円

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999	地域要望対応事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		8,000	13,000	12,500	枠配分の調整による	12,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
地域振興特別予算		8,000	13,000	12,500		12,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
市有施設で地域からの要望に即応するためのもの			
事業概要			
市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
実施箇所(箇所)	11	17	19
成果			
安全・安心・快適な住環境づくりと特色ある地域づくり・地域活性化に資する。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
引き続き継続する			
市長の約束			
合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

丹生川支所

予算要求課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
-------	-------------	---------

金額の単位は、千円

款	項	目
事業名		

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	13,011	11,479	11,479	要求どおり	11,479	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
地域振興特別予算	13,011	11,479	11,479		11,479	

以下は要求時の内容

事業の目的			
施設用地借上			
事業概要			
市の基準単価を上回る土地賃貸借			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
施設用地 (㎡)	1,054,873	1,054,873	1,054,873
成果			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所	土地賃貸借単価が市の基準を上回っており調整が必要である。
	② 本庁所管課	施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
	③ 地域政策課	基準額内の借地料となるよう精力的に交渉する必要がある。